

肺癌臨床検体を用いた新規間質マーカーの探索

1. 研究の対象

1996年1月1日から2016年12月31日までに当院において、肺癌に対して肺切除術を施行された方。

2. 研究の目的・方法

肺癌治療において、よりよい薬物治療の開発が求められています。癌は癌細胞と癌を取り巻く細胞から成り、近年癌を取り巻く細胞が癌の進行に関わっていることが明らかになってきました。大阪大学及びルンド大学（スウェーデン）の基礎研究から、新たな癌を取り巻く細胞に存在するたんぱく質（新規間質マーカー）が見出されました。本研究では、大阪大学医学部附属病院呼吸器外科で保管されている既存の残余パラフィンブロックを用いて、その新規間質マーカーについての解析を実施することで、新規治療薬の標的としての可能性を検証します。この際、あなたの個人名などは分からないように登録番号による番号付けを行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は既存試料等の提供により行われますが、試料および情報の匿名化を行います。また、本研究で利用する情報は登録されている臨床情報です（腫瘍マーカー、腫瘍径、病理病期、手術日、術式、組織型、術後化学療法の内容、再発の有無、再発形式、最終生存確認日、転帰）。

4. 情報の提供

プライバシー保護のため、患者さんが特定できないようにデータを処理した上で共同研究機関であるルンド大学に情報の提供を行います。研究のデータの解析および結果を公表する際には患者さん個人が特定されることはありません。

5. 研究組織

本研究に参加する研究機関と研究責任者は以下の通りです。

大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学 新谷 康

ルンド大学（スウェーデン）

クリスティアン・ピエトラス

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。また、試料・情報を海外（ルンド大学）へ提供することをご了承いただけない場合には、提供を行いませんので、下記の連絡先までお申し出ください。そのような場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先

新谷 康（大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学）

大阪府吹田市山田丘 2-2 (L5)

TEL: 06-6879-3152、 FAX: 06-6879-3164

E-mail: yshintani@thoracic.med.osaka-u.ac.jp